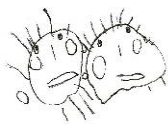


いっぽ だより



2023年度 No. 11

2024年2月26日

少しずつ春に向かい四季の中でもっとも輝く・・・動物も植物もそして人間も活動のわくわくを抑えきれない時を迎えています。今日この頃、皆さん如何お過ごしでしょうか。

一年の総仕上げ。子どもたちは、それぞれ入学や進級進学そして卒業と心の緊張や環境の変化と闘っているはず。私たち“はじめのいっぽ”と親御さんと、しっかりと子どもたちの行動の変化等を見逃すことなく見守っていかねばなりません。そのためにも親御さんとの連携が大切になりますのでよろしくお願いいたします。

二月三日は子どもたちの健康を願い、元気よく「鬼は～外、福は～内」と節分の豆まきをしました。二月十日には食育活動の一環として、子どもたちと恒例の味噌造り体験をしました。子どもたちの体に良いものをと、昼食やおやつは可能な限り手作りを基本に提供しています。

子どもとの関わりで、米国の心理学者が、気になることを言っています。子どもの伸ばし方で言葉より行動で上手に伝える「間」の作り方があると言っています。これは、コミュニケーションにおいて話の内容などの言語情報、声のトーンや速さなどの聴覚情報、表情などの視覚情報が、どの程度相手に影響を与えるかを示したものです。それによれば、「言葉情報」の影響は7%しかなかった。一方「聴覚情報」は38%、「視覚情報」は55%もありました。実は、何も話さない方が伝わることもあります。言葉は、わずかにして笑顔で見つめることで「間」が生まれます。「そんな訳がない」とか「何度言ってもやらない」「言わなかったらますますやらない」と反論する方もいるでしょう。心配せずに待ってみましょう。うまくいかないとしたら、その心理学者は、親である、あなたが子どもを信じ切れていないからと言うのです。この子は大丈夫、あなたは出来る子だよ、と伝えるだけで十分だそうです。そして良い行動をした時には、表情やしぐさを大げさでもいい、「あなたは素晴らしい」と褒めてあげてください。言葉はいらない。大事なことは見つめて抱きしめてあげれば良いのです。

「この子に伝わらないのは、言葉だけに頼っていたせいだ」と思えるようになれば親として変わっていきます。

ゆっくり・じっくり・ていねいに 子どもをみんなで見守りましょう。



代表 石橋 和久

3月のスケジュール

日時	行事
3月3日(日)	ひなまつり
3月18日(月)	定例会議
3月20日(水)	春分の日
3月22日(金)	あっちこっち紙芝居

小中学生編

みそづくり

日本を代表する発酵食品である味噌ですが、無添加で作ることが出来ます。

一週間前から、大豆を水に浸して、芽が出てくるところから観察をし、「先生！芽が出てる！」と1年生のK君。真剣な眼差しでした。生きている大豆の命をいただいているということを素直に感じ取った瞬間でした。

さて、毎年8キロの大豆と8キロの米麴と4キロの自然塩で仕込みますが、茹で上がった大豆をすりつぶす作業は、力仕事です。今年初めて行う1年生は、中学生とペアを組みベテランの作業をしっかりと目に焼き付けており、麴と塩を合わせる時には麴の甘い香りを嗅ぎ、五感を使ってみそ造りを体験していました。

すべての工程が終わったあと子どもたちは、来年には美味しく育つであろう味噌を思い浮かべ、満足した表情をしておりました。

始めはやる気の出なかったお友達も、「今日頑張らなければ、来年味噌汁も、豚汁も食べられない。」ことがどんなことか想像し、やる気満々で最後まで大豆つぶしを頑張ることが出来ました。

～美味しい味噌が育ちますように～

山本 寿果



2月の日常ショット



途別いっばは何度遊びに行っても最高の遊びを提供してくれます。今シーズンは、がけ下りの上級者コースをクリアする子が増え、いっば踏み越えた満足げな表情が最高です。

ただ滑るだけではなく、ゴールポストにシュート！これが結構むずかしい！

どんな大雪でもいっばの子どもたちには遊び道具です。降り続く雪の中もまたこころ踊る最高のシチュエーションなのです。スタッフも子どもと一緒にしゃぐ事が子どものありようを知る上でも大切なことと考えます。



宿題を済ませてから楽しい外遊びです。



ジグソーパズルが何日にもわたって完成しません。力を合わせて・・・



節分の2月3日はみんなで豆まきをして歳の数、豆を食べて厄を払いました。



2月から新しいお友だちがやってきました。あつと君です。さっそく誕生会となりました。よろしくね！



最近、進んで洗い物をしてくれるお友達も増えてきました。「ありがとう！」

ひつじ組 編 (未就学児)

～節分～

いっばの豆まきは、鬼は来ません。そのかわり、“悪い心”“病気やけが”を鬼として、毎年豆まきをしております。

日々の制作では、オニのお面や豆入れを作ったり、当日は煎り大豆をお手伝い。「先生！香ばしいにおいがする」においで感じたり、すぐに触ったら熱いから少し待ってからとわかったり、子どもたちは実生活を通して、経験して、失敗して大きくならなければならぬですね。

失敗を恐れて、何もできない子にだけはさせたくないですね。



スパゲッティ・ピザ・ドーナツ・アイスクリーム・おむすび・ジュース・・・制作とお買い物ごっこ。

スパゲッティやおむすび意外は、ご家庭ではあまり食べさせたくない食べ物かと思いますが、お買い物ごっこ遊びのメニューとしては、カラフルなものが沢山出来ました。

お店屋さん役になって、「いらっしゃいませ～」と大人顔負けのセリフで出迎えてくれたお友達もいました。



体調を崩しやすい年頃です。全員揃うだけでも嬉しくなっちゃう！最近朝の挨拶の前に「みんなでかくれんぼしよう！」がブームになっており、おにが戸を開けようとしても、絶対にあかないように、見つからないようにとルールは無茶苦茶ではありますが、仲間関係を楽しんで盛り上がりしております。年度末もあと1か月となりました。それぞれの旅立ちが嬉しくもあり、寂しくもあり複雑な時期です。

